

ギニア月報（2024年3月）

主な出来事

【内政】

- 11日、キンディア市にて、電力不足を起因とする暴動が発生。電力公社の建物や中央警察署などが攻撃される。
- 14日、バ・ウリ内閣が発足。
- 18日、石油公社、及び電力公社の代表が更迭される。

【外政】

- 27日、バ・ウリ首相は ECOWAS の代表団を接受。

【経済（経済協力含む）】

- 12日、トランスギニア社による鉄道敷設の起工式が行われる。同鉄道は、シマンドゥ鉄鉱床から港までの鉄鉱石の輸送路となる。
- 22日、ドゥンブヤ暫定大統領が ARG 社によるアルミナ精錬所の建設を承認。

1 内政

- ・ 6日、バ・ウリ首相は、首相府において現地メディア代表者複数と面会。「情勢が制御不能なることを防ぐべく責任感を持って働くこと」を要請。
- ・ 8日、国際女性デーに関する式典がキンディア市で開催され、大統領夫人、CNT 議長、首相、大統領府高官らが出席。首相は演説の中で、将来的に政府内の女性比率を 30%にすることを約束。
- ・ 11日、キンディアにて電力不足に起因する暴動が発生。電力公社（EDG）の建物や、中央警察署などが攻撃される。28日に、デモ参加者 11 名に対し 18 ヶ月の禁固刑を命じられる。
- ・ 12日、ギニア政府は 3 ヶ月の間、トマトやトウモロコシ、タロイモ等の 14 項目の輸出禁止を決定。
- ・ 12日、首相は汚職の追求を巡り、主要な監査機関代表（反汚職庁局長、財務監査官、監査院長など）と会談を実施。
- ・ 13日、行政区が再編され、24 コミューンが新設される。
- ・ 13日、全国的に電力不足が続く中、首相が関係者を召喚し対策会議を開催し、トルコ・カラデニズ社の発電船の手配が検討される。
- ・ 14日、大統領令により各大臣が任命され、バ・ウリ内閣が発足。女性比率は 21%に留まる。
- ・ 18日、大統領令により石油公社（SONAP）及び電力公社代表を更迭。

- ・ 27日、大統領は、地方評議会を解散し、政府が指名する代表に置き換えることを命令。
- ・ 28日、カルーム地区において、昨年12月の石油貯蔵庫爆発事故の被災者による抗議運動が行われる。同デモは国防軍と治安部隊により鎮圧された。

2 外交

- ・ 19日、CNT議員6名がECOWAS議員に任命される。
- ・ 21日、バ・ウリ首相はアフリカ開発銀行の代表団と会談を実施。
- ・ 27日、首相はECOWAS代表団を受け。同代表団は、首相の就任を祝すと共に、ECOWASはギニアの民政移管を継続して支援することを表明。

3 経済（経済協力含む）

- ・ 5、6日、今回で3度目となるギニア投資フォーラム（GUIF3）が開催される。2000名が対面に参加。ギニア投資促進庁（APIP）は民間企業より5億3百万米ドルを調達と発表。
- ・ 6日、シマンドゥ鉄鉱床の共同開発に関する協定（2月3日に成立）が公布された。
- ・ 6日、イスラム開発銀行及びアフリカ経済開発アラブ銀行が、ギニアの稲作部門に対して2800万米ドルの支援を発表。
- ・ 12日、フォレカリア県にて、トランスギニア社による鉄道建設の起工式が実施され、ドゥンブヤ暫定大統領、CNT議長、ウィニング・コンソーシアム・シマンドゥ及びリオ・ティント社代表が出席。
- ・ 18日、鉱業省がギニアのボーキサイト輸出量が継続して減少傾向にあると発表。
- ・ 19日、バ・ウリ首相は仏・ギニア系のアルテオグループと面会。アルテオグループより、ボケ地方カムサール近郊にアルミナ精錬所の建設が打診される。
- ・ 22日、仏開発協力庁、UNICEF、Global partnership for Educationがギニアの教育支援として、訳37万部の教科書を提供。
- ・ 22日、大統領がアルテオ・リファイナリー・ギニア（ARG）社によるアルミナ精錬所の建設について承認。
- ・ 27日、中国政府の支援（3100万米ドル）する新国会議事堂建設の起工式が行われた。上海宝冶グループが工事を担当し、工期は27ヶ月の予定。

（了）